

みずほCustomer Desk Report 2018/04/11号 (As of 2018/04/10)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	106.76
TKY 9:00AM	106.76	1.2321	131.50	GBP/USD	1.4132
SYD-NY High	107.40	1.2378	132.61	AUD/USD	0.7768
SYD-NY Low	106.62	1.2303	131.43		1.4122
NY 5:00 PM	107.20	1.2357	132.41		0.7761
NY DOW	24,408.00	428.90	日本2年債	-0.1600	▲1.00bp
NASDAQ	7,094.30	143.96	日本10年債	0.0300	0.00bp
S&P	2,656.87	43.71	米国2年債	2.3049	2.46bp
日経平均	21,794.32	116.06	米国5年債	2.6239	2.71bp
TOPIX	1,731.94	6.06	米国10年債	2.8000	2.01bp
ソコ日経先物	21,865	240.00	独10年債	0.5125	1.00bp
ロンドンFT	7,266.75	72.00	英10年債	1.4055	0.10bp
DAX	12,397.32	135.57	豪10年債	2.6890	2.35bp
ハンセン指数	30,728.74	499.16	USDJPY 1M Vol	7.35	▲0.05%
上海総合	3,190.32	52.03	USDJPY 3M Vol	7.56	▲0.09%
NY金	1,345.90	5.80	USDJPY 6M Vol	7.98	▲0.05%
WTI	65.51	2.09	USDJPY 1M 25RR	-0.75	Yen Call Over
CRB指数	197.11	2.15	EURJPY 3M Vol	7.77	▲0.15%
ドルインデックス	89.62	▲0.22	EURJPY 6M Vol	8.23	▲0.09%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月10日	17:30	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-
	21:30	米 PPI (前月比)	3月 0.3%	0.1%
	21:30	米 PPI (前年比)	3月 3.0%	2.9%
	23:00	米 卸売在庫(前月比)・確報	2月 1.0%	0.8%

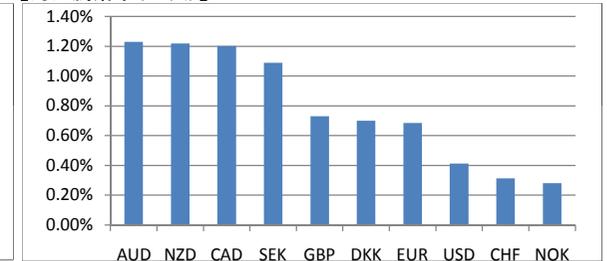
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月11日	07:30	米 ポスティック・アトランタ連銀総裁 講演	-	-
	10:30	中 CPI(前年比)	3月 2.6%	2.9%
	12:05	豪 ロウ豪中銀総裁 講演	-	-
	15:15	日 黒田日銀総裁 講演	-	-
	17:30	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	2月 0.4%/2.9%	1.3%/1.6%
	17:30	英 製造業生産(前月比/前年比)	2月 0.2%/3.3%	0.1%/2.7%
	20:00	欧 ドラギECB総裁 講演	-	-
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	3月 0.0%/2.4%	0.2%/2.2%
4月12日	03:00	米 FOMC議事要旨(3月20、21日開催分)	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.80-107.60	1.2300-1.2400	132.00-133.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場は、米国が中国の500億ドル貿易赤字削減提案を拒否との関係者筋からの発言にドル円は106.80近辺まで下落も米PPIは市場予想を上回り、サウジアラビアが原油価格80ドルを視野にとの報に原油価格も上昇となったことでドル円は107.40近辺まで反転した。本日は米株が前日比1.8%近い上昇で引けたことで日経も連れ高が予想され、アジア時間のドル円は底堅いながらも海外時間には米CPIの発表も控えていることから上昇幅は限定的と考える。

東京	シリア情勢に係る化学兵器使用疑惑を巡って米国が48時間以内に重要な決断を下すとの報道に米露関係の緊張化が意識される状況下、東京時間106.76レベルでオープンしたドル円は前日から上値の重い推移が続く安値106.62まで軟化。本邦勢による五・十日特有の実需フローが散見される中で小幅に上昇。その後行われたアフォーラムにおける習近平国家主席による演説では、自動車等の輸入関税引き下げや外国企業への市場参入規制緩和など引き続きの改革・開放政策の維持が表明され、足許で燻っていた米中貿易摩擦懸念が緩和格好にドル円は一時107.24まで急騰。その後は材料不足となる中で107円台前半での横這い推移が続き、結局107.22レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、107.22レベルでオープン。米国がアサド政権に対し、他の数か国と共同軍事攻撃を検討していることを背景にリスク回避ムード、さらに米国が中国の500億ドルの貿易赤字削減提案を拒否したとの報道が嫌気され、106.80まで売られる。一服後は若干戻し、107.06レベルでNYに渡った。ユーロは、1.2305レベルでオープン。ECB理事会メンバーのボトニー・オーストリア中銀総裁が0.2%の利上げの必要性を示唆したこと高値1.2378まで急伸。1.2361レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、シリア情勢に伴う地政学リスクの高まりから安値106.62まで下落したが、博覧アフォーラムにおいて習近平国家主席が、自動車への輸入関税引き下げや外資規制の緩和を表明したことから、米中貿易摩擦懸念が一たび緩和し、107.24まで上昇。しかし、シリアを巡る米露関係悪化が意識されるなか、再び106円台後半に下落し、107.06レベルでNYオープン。米3月PPIが予想比強めの結果となったことから、107.03まで上昇。その後、海外時間に報じられたECBメンバーでもあるボトニー・オーストリア中銀総裁の金利に関する発言について、ECB広報担当者が「当該見解は同氏自身のものであり、政策委員会の見解を示すものではない」との声明を発表したことを受け、ユーロドルが急落したこと、対ユーロでのドル買いに連れてドル円は昨日高値107.20を上抜けストップを巻き込みながら高値107.40まで急伸。序盤堅調に上げ幅を拡大していた米株が上げ幅を縮小する動きに、107.12まで反落したが、トランプ大統領が「(関税と自動車障壁に関する)『習主席の思いやりある言葉』や『知的財産と技術移転に関する見識』に深く感謝」とツイートしたことを受け、107.38まで反発。その後は107円台前半で方向感なく推移し、107.20レベルでNYクローズ。一方、海外時間にボトニー・ECBメンバーが「第一段階として、預金金利を-0.4%から-0.2%に引き上げ、第二弾として利上げに政策金利を含めることに全く問題は無いと考えている」とコメントしたことを受け高値1.2378まで急伸したユーロドルは1.2361レベルでNYオープン。ECB広報から上記火消しコメントが発表されたことを受け1.2325まで急落し、1.2357レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 山下・田家